

第30号
特集

みどりの風

目次

「みどりの風」第30号特集

会 長 遠山 昌夫	
名誉会長 榊 直樹	
元事務局長 久野 秀正	
.....	2-5 頁
「フレンズ・TOHO」定期総会	
.....	6 頁
会員インタビュー	
.....	7-9 頁
子育て真っ最中のママに贈る講演	
.....	10 頁
会員寄稿「平和の学校の教育改革」	
.....	11 頁
第2回「就職支援相談会」	
.....	13 頁
「フレンズ・TOHO」総会記念講演 「夢があるから強くなる」	
.....	14 頁
法人会員企業紹介「榊中京食材」	
.....	15 頁
自然と親しむ会「熊野古道を歩く」	
編集後記	
.....	16 頁



題 字：
森井勝也
表紙画：
古市久子
写真左：
熊野古道



「みどりの風」第30号特集

「フレンズ・TOHO」が存在する意義は大きい

会長 遠山 昌夫

会長をお引き受けし、2年目となりました。「みどりの風」は、今回の発行で、第30号を迎えます。1年に2回の発行ですから、「フレンズ」の発足から丸15年が経過したこととなります。

私は、1962年名古屋中小企業家同友会（「愛知同友会」）の創立に加わり、初代表理事を務めました。現在、顧問です。この同友会は、発足時は32名で発足しました。それが今では、3000名を越える大きな組織となりました。文字通り「数は力也」といえます。

また私は「松下村塾（吉田松陰）」や「適塾（緒方洪庵）」のように「志をもって目的に向かい、学びあう場」としたいという思いを込めて、1974（昭和49）年、青年経営者塾を創設しました。今年7月、第63回目入塾式をおこなったところです。塾生も1500名を超えました。

「フレンズ・TOHO」の設立趣旨に、この塾の理念に通じるものを感じます。「フレンズ・TOHO」会則の趣旨・目的には、「会員相互が、互いに『フレンド（友）』になることによって啓発しあうことであり、「本会の活動を通して社会に貢献・寄与していくこと」であると謳っています。

この趣旨・目的には、人と人、互いの人格を尊重し、活動を通じて民主主義を生かそうとする精神があります。

東邦学園からの依頼もあり、「フレンズ・TOHO」の会長をリンナイ（株）内藤前会長から引き継ぎました。

組織は拡大されることにより、その役割もより

発揮できることとなります。「フレンズ」発足時は、法人会員84社、個人会員160名でした。そして、今年9月、86社と175名。法人も個人も入会と退会があり入れ替わっているものの、発足時会員数を若干上回る程度であります。願わくは、一層の会員増となるような活動が検討され、目標をたがえないよう実現されることを期待いたしております。そのためには、学園自信もわが事のように「フレンズ」存続の意義を理解され協力されることがなくてはなりません。自らの最も信頼できる応援団となる組織の一つだからです。

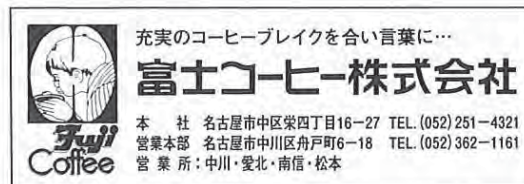
日本では、学園を支える市民組織を有する学校法人は多くはありません。市民や企業の力で私学を発展させることは、学園にとっても市民や企業にとっても力を補い合う相乗効果につながります。

「みどりの風」30号が40号へとさらにつづき、「フレンズ」がますます発展することを願わずにはいられません。

（菊水化学工業株式会社最高顧問）



~つや消しの街~
ナバイント
輝く白色を、いつまでも美しく。
菊水化学工業株式会社
TEL: (052) 251-4321 FAX: (052) 250-1234
www.kikusai-chem.co.jp



充実のコーヒーブレイクを合い言葉に…
富士コーヒー株式会社
本社 名古屋市中区栄四丁目16-27 TEL. (052) 251-4321
営業本部 名古屋市中川区舟戸町6-18 TEL. (052) 362-1161
営業所: 中川・愛北・南信・松本

「みどりの風」第30号特集

「ワシントンの荒廃から学ぶ」

名誉会長 榊 直樹

「まだ日本は大丈夫だ」と油断する趣旨ではありませんが、アメリカの教育の、あ然とする実態の一端を読んだので、ご紹介します。

ニュージャージー州在住の作家で、鋭い評論を発している冷泉彰彦さん配信のレポートです。首都ワシントンDCで、三十代だった韓国系女性ミッシェル・ルーさんが、民主党の黒人市長から教育総監に抜てきされて取り組んだ学校教育の立て直しについてです。

就任時、ワシントンDCは学力水準が全米で最低ランクでした。高校1年生が8年後に大学を卒業する可能性が9%、黒人と白人の学力差は70ポイントもあり、8年生（日本の中学2年生）で数学の到達度を達した生徒は8%しかいなかったそうです。ルーさんは敢然と立ち上がりました。

能力主義で教育できる小規模校を設ける一方、大規模校には有能な校長を配して教育水準を追求、さらに第三者委員会で教員の能力もチェックし、力不足の教員450人以上を解雇したそうです。定員割れなどした28の学校を閉じてしまいました。

3年間で、数学の到達度は27%から43%に、読解力は29%から43%にアップ、高校の卒業率も3%向上しました。ルーさんは能力主義導入の統一労働契約まで合意させ、「アメリカで活躍する女性ベスト20の一人」として紹介されました。しかし、後ろ盾だった市長が予備選で反市長派に敗退、彼女も最近辞任しました。

かつて「米国の高校の退学率が50%に下がった。大成果だ」と聞いて、退学率のあまりの高さに驚きましたが、首都における教育実態の荒廃と、そこまでやるかという大ナタを振るわなければ改革できない深刻さに、改めてあ然とします。

それに引き替え日本はどうか——。全国でみると高校生の退学率は約2.6%、大学進学率は4年制で50%を超えましたが、入学生の7人に1人

は退学しています。このデータから弾き出すと、最低水準・ワシントンDCの「高校1年生が8年後に大学を卒業する可能性が9%」というレベルまでには悪化していないでしょう。が、徐々に近づきつつあると認識すべきでしょう。高校退学者は毎年10万人余、中小都市一つ分の高校生が毎年去っています。

退学生は通信制や「高認」など進路を変えながら、大学や専門学校に再チャレンジしていくようです。

冷泉氏はレポートの中で「アメリカは、貧困層対策と中間層の底上げに優先順位を絞ればいいが、日本の場合は貧困層向けの教育の崩壊度合いもひどければ、エリート教育がそもそも存在しない一方で、中間層のレベル低下も起きており、改革しなくてはならない範囲が広すぎる」と指摘しています。

「失われた10年」から脱するための小泉・竹中改革の時代、日本経済は上昇に転じると同時に、貧富の著しい格差と雇用の二極化を生みました。それが生徒と学生の学びの条件に大きな影を落としています。さらにリーマン・ショックが追い打ちをかけています。私ども教職員が第一に任を負うべきですが、フレンズの皆さま方をはじめ外部からのご支援、ご指摘、そして叱咤も必要です。ご協力をお願い致します。

(東邦学園理事長・東邦高等学校校長)

地震にはウッドピタ

短工期・低コスト
地震に強くなる、木造住宅向け新耐震工法

 矢作建設工業株式会社

〒461-0004 名古屋市東区美 3-19-7
TEL(052)935-2351 FAX(052)935-5833

 株式会社ウッドピタ

お問い合わせ (0120)260-220

「みどりの風」を読み返して

元事務局長 久野 秀正

「フレンズ・TOHO」の会報「みどりの風」が第30号になると聞いた。そこでこの夏第1号から目を通して見た。これがなかなか面白い。その時々の方が思い出され、また改めて学び直したこともあり、今夏の猛暑に対しての一服の清涼剤となった。

平成8年の創刊号と第2号は、創立時のものだけに設立に対する熱気にあふれている。創刊号の冒頭を飾る下出保雄理事長の「『フレンズ・TOHO』の発足にあたって」の挨拶は、会の設立の趣旨が簡潔ながら的確に述べられており、東邦学園に新しい風を吹き込む意気込みが感じられる。各界、特に地元産業界の方々からの当会への熱い期待も語られており、いろいろ準備を重ねてこの日を迎えた者の1人として、改めて感慨深く読み返した。第2号に掲載されている創立総会の記念講演は、当時経済同友会の教育委員会委員長であった桜井修氏の「21世紀に向けての視点 ～産業社会と教育を考える～」は、日本の産業界の変遷を踏まえて、日頃から感じておられる教育のあり方への提言が語られ、本会のスタートに誠にふさわしいものであったことを示している。

毎年の総会での記念講演会については、誰にどんなことを話してもらうかは、事務局として重要な関心事の一つであった。ねらいをつけた方々のすべてに快諾していただき、総会を飾っていただいたことに今でも有難く思っている。中でも平成17年の創立10周年の記念講演総会に招いた寺島実郎氏（日本総合研究所理事長）の「世界潮流と日本」と題された講演は、特に多くの会員から好評を得たものであった。「鳥の目」の視点から、いま世界はどのように激しく変化しているかを具体的に数字を示しながら語られ、その中で日本はどう対応しなければならないか、アメリカを通してしか世界をみてこなかった習性を脱して、中国、ロシア、欧州の諸国、アジアの国々のダイナミズムに視

点を広げなければならないこと。「虫の目」の視点からは、急速な人口減、高齢化という日本の社会構造の変化にどう向き合っていくかを、例えばロボット産業の重要性などが話された。

平成11年の森永卓郎氏、平成15年の山口義行氏（立教大学教授、元東邦短大講師）や平成14年の松田喬和氏（毎日新聞論説委員）など講師をお願いした方々に、時々テレビでお目にかかる懐かしさを感じる。

当初事業活動の一つ、CSF（サークル・オブ・スタディ&フレンドシップ）について3つの柱を立てた。1つは「現代中国を知る」こと、次は「郷土の探索」、3つは「地域との交流」。

「現代中国を知る会」は、加藤紀生氏（東邦高校第11回卒業、中国江蘇省南通で日中合弁会社の総経理）に口火を切ってもらった。同氏は長年の中国での企業活動の経験から中国人の特性として、個人主義・利己主義であり、中国は実利主義の社会であり、また「コネ社会」であり、「均分主義・平等主義」例えば給料が他人より低いとすぐ抗議するとか、一方中国人は何事にも歴史的に時間に耐える息の長さを尊重し、粘り強さを尊ぶとか、などなど独特の行動様式を持っていることを承知して中国での企業経営をしなければいけないことを指摘された。氏には平成15年にも話してもらった。平成9年には牧野由郎氏（元愛知大学学長）から「日本の国際化と現代中国」と題して主として国際化とは何かを聞いた。平成10年には加藤鋼造氏（JTB中国旅行名古屋支店長）からは、中国旅行で注意すべきことを語ってもらった。平成11年には今泉潤太郎氏（愛知大学現代中国学部教授）から、幾つかの中国語の新語を解説してもらい、同じ漢字国でも日本語との違いなど興味ある話を聞いた。その後更に、平成13年に松山昭治氏（元CBC論説委員長、元東邦学園外事顧問）から「日本人の知らない中国の現状」について、平成16年には游仲勲氏

Hoshigaoka Group

www.hoshigaoka.co.jp

★星が丘テラス ★リンクスこうのす ★東山ポート
★星が丘ボウル ★星が丘自動車学校
★星が丘駐車場 ★星が丘モーターサービス

東山遊園株式会社

〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町 14-35 ☎781-5210

Rinnai

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号 ☎052-361-8211

(東邦学園大学教授)から、中国の政治経済を考える場合には、香港・台湾・シンガポールの華僑国家を含めた大中華圏の連合体の視点を忘れては実体を見失うことを教えられた。以上一連の学習の総仕上げとして、平成17年11月に5泊6日の中国旅行を企画実施した。最終地の上海で前記の加藤紀生氏と出会い、市街を案内してもらった。その見聞録が第21号に掲載されている。一員に加わった者として、中国の歴史と激動の今をみて、中国の奥行きを深さを実感した。

次に第2の柱「郷土を探索し学ぶ会」に目を転じよう。最初に大須の萬松寺から始まった。当会の理事でもあった伊藤治雄住職から、「名古屋の歴史と大須萬松寺」のお話を聞き、その後萬屋仁兵衛工房の人形師によるからくり人形の実演を見学した。平成8年であった。翌9年には学園の地元平和公園の墓地巡りを行なった。講師の舟橋武志氏(郷土史家)から「平和公園の史跡」について講義を受け、その後2時間現地で尾張藩第7代藩主徳川宗春、尾張藩付家老成瀬・竹腰家・赤穂浪士片岡源五衛門などの墓を巡り、掃苔の一日を過ごした。平成11年には林董一氏(愛知学院大学名誉教授)に「徳川三代と御三家」の関係、特に尾張藩と徳川宗家の間では家光の御三家臣化政策に義直が強く抵抗したことを中心とした話を聞いた。平成12年には名古屋学を唱えた岩中祥史氏から、今日本で名古屋が最も輝いているのは、流行に左右されない堅実な名古屋気質に負うところが大きいと、「名古屋人気質と名古屋学」の講義を受けた。平成13年には渡辺正雄氏(元県立高校教諭)を招いて、同氏が育った近所の「円頓寺と芭蕉」について、同寺で詠んだ「ありと有り譬えにも似ず三日の月」の句を足掛かりに芭蕉と名古屋との知られざるかわりを教わった。平成14年には名古屋博物館で開催中の特別展「盛り場」を見学し、学芸員の山本祐子氏から「猿猴庵の本」との題で、文政3年大須にあった清寿院で催された見世物籠細工を画いた猿猴庵(尾張藩の中級武士)の紹介と、彼の書いた本の絵と文の文化的価値の高さを聞き、名古屋の伝統文化のすばらしさを学んだ。平成17年には、愛知東邦大学講師の高木備太郎氏を煩わし、松坂屋創立者の伊藤次郎左衛門祐民の別荘、揚輝荘(千種区覚王山)で、建物の由来などの話を聞き、庭園を見学した。更に高木氏の案内により、日泰寺の墓を巡り、下出家の墓を詣で地元財界人の掃苔をし

た。尚その際、関東大震災直後、東京憲兵隊分隊長甘粕太尉によって殺された大杉栄の道連れにされた甥の橘宗一の墓も教えてもらった。墓の裏面には「宗一(八才)ハ再度日中、東京大震災ノサイ、大正十二年(一九二三)九月十六日ノ夜、大杉栄・野枝ト共ニ犬共ニ虐殺サル」と刻みまれていた。思わぬところで戦前の暗黒なテロ事件と出遭い、何回もその墓標を眺め立ちつくした。

3つ目の柱「地域とのつながり」については、前記の「平和公園の史跡探索」で平和が丘の自治会に案内を出し、約60名の参加があった。更に平成11年スポーツ科学の権威者元東大教授宮下充正氏に「人はなぜ歩くのか」の講演と、歩き方の指導をしていただいた際にも地元案内し、たくさんの参加者を得、喜んでもらった。

上記の他多くの方からさまざまなお話しを聞き、見聞を拡げた。その中には、下出家のお三方も含まれている。先ず現学園理事長の榊直樹氏(当時毎日新聞東京本社政治部副部長)に平成8年「今後の政局を展望する」との表題で話していただいた。その中で語られた「政治とカネ」の問題は、今日の問題でもあり根深いものだ。平成12年には日本の結核病の権威者である下出久雄氏から、もう忘れられた病と思われた結核が近頃になって、何故中高年などに発生しだしたのかをめぐって、詳細な資料に基づいての説明があった。平成16年には榊佳之氏(理化学研究所ゲノム科学総合研究所センター長)に、難しい「ヒトゲノム」について世界的第1人者から、丁寧にわかりやすく説明していただいた。質疑応答の中で「生物では強いものが生き残ったわけでもない。一番賢いものが生き残ったわけでもない。自分たちは変わり得るという能力を持った生物種だけが生き残ってきた。多様性を維持できなかった生物は死に絶えた」というダーウィンの言葉を紹介された。このことはあらゆることに妥当するのではと、印象深く聞いたことを思い出した。

「フレンズ・TOHO」の活動のすべてが記録されており、同時に会員相互を結びつける絆となっている。「みどりの風」を、創刊号から読み通してみても、単に追懐の情に浸るだけでなく、改めて多くのことを学び直し、更にその行間から明日への活力を与えられたことが嬉しかった。これからも「フレンズ・TOHO」がますます驥足を伸ばし、「みどりの風」が一層充実して、私達への応援歌となっていくことを、大いに期待したい。

「フレンズ・TOHO」

定期総会開催

6月10日(木)、名古屋国際ホテルにおいて「フレンズ・TOHO」2010年度定期総会を開催いたしました。

役員会ならびに総会、記念講演、懇親会と例年通りのスケジュールで開催され、役員会(理事会、評議員会合同)には、内藤明人(リンナイ株式会社取締役会長)顧問、榊直樹名誉会長らが出席。事務局から議案が提案、審議され、2011年までの2年間の役員改正案件などが決定されました。

新役員には遠山昌夫会長の再選と、あらたな理事、評議員が選出。前年度の事業報告と決算報告ならびに、2010年度の予算案が承認されました。

新たに企画された事業計画では、「個人会員に満足いただける内容や、法人会員に会員であることのメリットを感じてもらえるような企画を目指す」と企画の意図が示されました。

総会に引き続く記念講演は、川淵三郎氏(日本サッカー協会キャプテン)が『夢があるから強くなる』と題して、およそ90分お話をされました。(関連記事14ページ) 記念講演は、無料にて一般公開されたこともあり、多くのサッカーファン

が参加されました。ワールドカップアフリカ大会を間近に控え、日本代表サッカーチームがどんな試合をするのかの関心が高まっていたこともあり、会員と一般の方合せて約160名が話を聞きました。

『マグロ解体ショー』

賑やかに懇親会

懇親会は賑やかでした。例年のビンゴゲームに替わって、本年度は愛知東邦大学吹奏楽団の演奏やマグロの解体ショー。



会員の協力で、60キロのマグロの解体が格安に実施でき、鮮やかな包丁さばきで切り身になっていくマグロを間近にし、その味に参加者一同から大きな満足をいただきました。

懇親会には、帰京までの時間に追われる中、川淵キャプテンと、

愛知県サッカー協会顧問の赤尾協美氏、日本プロサッカーリーグ西垣成美氏も参加されました。

会場では、サッカーファンが川淵キャプテンと記念撮影する姿もチラホラ。アツという間の2時間でした。



電気設備・送電線・地中線 設計施工



川北電気工業株式会社

本社/名古屋市中区栄四丁目6番25号 TEL.052-251-7111

<http://www.kawakita.co.jp>

30年からの土地活用
KODATEX
コダテックス



土地・建物の有効活用のパイオニア

貝沼建設株式会社

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目7番14号
代表取締役 宇山公一郎 TEL.(052)242-1131 FAX.(052)242-2291

経済も環境に似たところがある 循環型経済をめざす

丸美産業株式会社

会長 嶺木 昌行 氏



会員インタビュー

企業経営やお仕事ぶり、貴重な体験、お人柄などをご紹介する企画です。

今回は、丸美産業(株)会長 嶺木昌行氏にお話を伺いました。

●このビルにお邪魔するのは初めてなのですが、この建物は「木質ハイブリッド工法」で建てられたと聞いているんですが……。

○チョット開けてみましょうか。(ブラインドを全部開けて) 外側にあるガラス、耐火ガラスなのですが、内側のガラスとの間に1メートルほどの空間があるでしょ。この空間を空気が対流する。断熱、防音の働きと、隣家からの飛び火を防ぐ役割を持っているんです。

木材でビルを造るというのは、5層以上は認可が下りない。5階建てのビルを造りたかったので、このビルも1階部分は通常の鉄筋コンクリート、2階から5階が木造のビルです。うちはもともと木材屋ですから、木にはこだわりがあったんです。

●着工に至るにはいろいろあったんでしょうね。
○今から数年前に地震問題が騒がれました。我社も古い建築基準法に沿って建てられた建物であったので調査しました。その結果、強度の地震には耐えられないといった報告が挙がったんです。耐震補強をした場合、手狭になったり見栄えの悪さがどうしても生じる。耐震費用などを考えますと、建て直した方が良いという事になって決めました。

どうせ建てるなら、社会にアピールできるもの、情報発信するものにしたいと考えました。たまたま京都大学の高松教授に出会い、都市部でも木造の大きな建物(オフィスビル)も可能であると伺い、ご相談しました。耐震性では木造でも問題はないのですが、耐火性となりますとなかなか難しい。一番の問題は飛び火防止です。そこで先程お話ししたような耐火ガラスを使用することによって対応が考えられたのです。

●木材は集成材を利用されていますが、外材ですか。

○国産の信州カラマツを使用しています。集成材ですから、伐採する木は太くない間伐材でいいんです。

●ところで日本の森林は、なかなか人の手が入らなくなっていますよね。それでかなりの森林が放置されているようですが……。

○林業や農業、あるいは漁業などの基本産業は、人手がいるんです。そのため人件費が嵩んでしまう。土地の値段もばかにならない。林業では、さらに切り出すための林道整備にお金がかかりすぎて、結果、間伐材を含めて(内地材は)外材より価格が高くなってしまいます。ですから、内地材より外材へと流れていきました。しかし、これではいつまでたっても林業は発展しません。

個人的見解を申しますと、(林業は)100年単位で管理していかななくてはならない。こういうものは国が管理をし、国有化にしなければいけないと思っています。山林も農地も、食料や資源にか

◆三菱電機株式会社・新電元工業株式会社 代理店◆

EH エレックヒシキ株式会社

代表取締役社長 下出 啓介

本社 〒465-0093 名古屋市名東区一社四丁目22番地
TEL(052)702-2021 FAX(052)704-3131
岡崎営業所 〒444-0075 岡崎市伊賀町三丁目25番地
TEL(0564)21-6792 FAX(0564)21-6838

総合印刷

中部印刷株式会社

☎453-0801 名古屋市中村区太閤四丁目15番7号
TEL451-8416番(代表)
FAX452-4552

かわるものは、たとえいくらかかろうと国の優先事項と考え、一定の生産量を守り安心感を与えるものでなくてはなりません。

なぜなら、こういったものは三世代、四世代続けていく必要があるのに、個人に委ねては後継者や資金の面で問題があり、全てを処理することは難しいと考えるからです。国の責任で行っていく事業だと強く思いますね。何も社会主義経済にせよということではない。国家管理がふさわしいものは、そうしたほうがいいという意味です。

●現在の状況で変化を期待できますか。

○少しずつですが、ここ数年で状況は変わりつつあります。例えば杉の産地の宮崎県では、県と業者が一体となって山を活かそうと努力しています。具体的には、山林の所有者が放置している山を県が購入し県有林として経営をしています。県としては赤字にはなりますが、山を守っていくことは大事なことです。

豊田市が町村合併になって、豊田という街と、下山地区等森林のある地域の両方を新に発足した豊田市が抱えることになりました。たまたま豊田市で会合があり、新しく合併し組み入れた山林の利用方法の質問に答え、発言させていただきました。



いきなり国で（山を）管理していければよいのですが、あまりにも規模が大きすぎるので、まず各自治体で対応していく。該当する自治体を森林特区と指定し、進めていく方法もあるのではないのでしょうか。

●その場合、運用はどうお考えですか。

○国家管理、自治体管理においても、すべてを税金で行うのではなく、山林買収資金は民間のファンドで、と考えています。配当金は収益が出るま

では期待できないかもしれませんが、ファンドの所有権を持つことで、国の財産である山林を国民として守っていく。国民として子孫に自慢できるものを残していく気持ちが必要です。今のままでは外国資本や外国人の買占めにあい、人間にとっての本質的な環境（水や空気の）管理ができなくなる懸念があります。

生産するところまでは国家、自治体管理とし、そこから切り出された木材の流通部門など、資本の論理で商業ベースが成り立つところは業者が行っていく、といったシステムを作らなければいけません。実践するには様々な問題もあり難しいかもしれませんが・・・。

「量ではなく、質を考える」

●ところで、日本は少子化の時代を迎え、住宅産業の分野においても難しい時代を迎えていると、思うんですが・・・。

○デフレと人口減少は歯止めが掛からないと思います。反面、この国土に人が1億3千万人もいること自体に無理があると思うんです。1億人を切る人口が適正ではないかと思っています。それを前提とした新しい国家体制を考えるべきです。

今、アジアに負けるな、少なくとも日本は世界に冠たる経済大国であるから、という思いが強い。私は経済競争から離脱して、まったく違った新しい国家作りが必要だと思うんですよ。これからは、量ではなく質で世界のトップになれるように考えたいですね。

私は、今ある2つ3つの潮流は直らないと思っています。一つはデフレの潮流。なぜデフレになったかという、戦争はインフレの原因ですが、日本では60年、戦争がなく平和でした。これがデフレを引き起こしている。平和は投資と財蓄の増大を引き起こし、金余りの一方設備過剰になっています。必要なものはほとんど手に入り、新しいものも備えてしまった。そこでは物が売れず余ってしまう。買うものがないからデフレとなっている。

もう一つのデフレの要因はグローバリゼーション。世界の価格が一本に収斂する傾向となるんです。たとえば、衣類なんかは中国や東南アジアで製造されて、安い価格で日本に入ってくるわけですから。安いほうへ価格は収斂していくんです。

●世界が次第に小さくまとまっていかなるを得な

 **大同特殊鋼**
URL <http://www.daido.co.jp/>

鈴木健治法律事務所

弁護士 鈴木 健治 (高17回)

〒451-0031 名古屋市西区城西1丁目8番16号 杉浦ビル2階
電話 (052) 532-8320 FAX (052) 532-8420

い状況と捉えればいいのでしょうか。

○企業においても同じだと思っています。

経済戦争から撤退する。戦争に巻き込まれないためには戦地に行かないことです。

拡大路線をやめて、縮小すること。人口が1億になり、GDPが下がっても仕方がないことだと思います。

企業戦略で大事なことは、なるべく潰れないようにする。それは小さくすることだと思うんですね。循環型の経営でも言ったらいいのでしょうか。



秀吉が国内統一を計り、成功すると朝鮮半島に出て行って切り取ろうとした。だが、それは失敗に終わった。日中戦争においても、同じように韓国を併合し、東南アジアまで切り取りに出かけた。だが、やはり秀吉と同じように大きな痛手をこうむった。

日本人従業員は、海外に赴任が決まると「3年たったら帰してください」というように帰国したがる。現地で根を張って何千人もの現地の人を使ってということはあまり得意ではない。外国人の従業員を使用する能力には長けていないんです。農耕民族だからなのでしょう。

拡大路線をひた走することは、経済においても限界があり、循環型経済を目指さないとやれない。環境問題と似たところがある。拡大と発展には限界がある。地球という有限なものの中での環境は、循環型で永続性を考えないと破滅を招きます。環境問題ではそこに気付き始めたが、経済の分野ではそうはなっていない。相変わらず拡大を追い求

める考えが少なくない。私はそうは思わない。

「木の哲学」。一番大切なのは、根。

●ところで会長は、木材に携わって42年。会長にとって木とは……。

○木から教えられたことは数多くあります。私は、「木の哲学」と言っているのですが、木は「根、幹、枝、葉（花）」からなっています。そのうち、一番大切なのは根です。人は先にある枝や葉、あるいは花しか見ません。そこだけを見て評価するのは。木が朽ちていくときは、最初に葉が落ち、枝が枯れていきます。そのうちに幹が駄目になり、よく見ると土に隠れている根が腐っています。木の生命の基である根が駄目になると、木は完全に朽ちます。

日本産業の変遷を見てみますと、素材産業から始まり工業生産産業へ、それから商業産業、金融へと進んでいます。（人の効率が悪い）第1、2次産業から、（人やお金の効率の良い）第3、4次産業へ流れてきました。木でいえば、今は枝や葉ばかりの世の中といえるのではないのでしょうか。ただ、根の部分である農業や林業、漁業が苦しい状態であっても、それを海外から調達することにより、かろうじて日本の産業も生きています。日本の根は何か。花や実ばかりを見るのではなく、根を中心とした全体のバランスを大切にしたいと思います。

会社でも同じで、収益ばかり考えているとバランスが悪くなります。あまり大きな収益を考えずに、自己資本に見合った収益を上げていくことです。小さくとも、風にも雨にも強い、しっかりと根の張った木となっていく努力をしていくことが大切だと思います。若い人にもよく言うことですが、人間も同じで、これから生きていくためには「自分の根を育てなさい」と。はじめから枝や葉ばかりを見るのではなく、根がどっしりしていると、やがてしっかりした幹に立派な枝や葉がつかます。

これが、木から教えられたことのひとつです。

●長時間ありがとうございました。

モノと心を大切にできる社会の実現

美丸美産業株式会社

代表取締役会長 **嶺木昌行**

代表取締役社長 **南喜幸**

ISO 14001 認証

〒467-8533
名古屋市瑞穂区瑞穂通3-21
TEL (052) 851-3511(代)
http://www.marumi.com

3才のお子様から **東邦高校室内温水プール**

東邦スイミングクラブ

無料体験教室 随時受付中

〒465-8516 名古屋市名東区平和が丘3-11 TEL 052-782-1266

マツカヤカードに新しい仲間 **初年度年会費無料**

さくらパンダカード誕生!

半年ごとのボーナスポイントプレゼントで、最大10%のポイント還元!

●マツカヤカードからのカード切り替え時は、手数料735円(税込)を頂戴します。

お問合せ先は:
JFRCカードお問合せセンター ☎0570-088-880(午前10時~午後6時 年中無休/1月1日を除く)

「言葉が豊富で、表現が豊かですばらしいし、声が美しい…」受講者の一人は、やや興奮気味でした。10月7、14、21日の3回シリーズで講演がおこなわれました。講演のテーマは「賢い子どもを育てるために——子育てまっただ中の皆様に——」。講師は、愛知東邦大学人間学部こども発達学科学科長古市久子教授（「フレンズ・TOHO」会員）。

21名の受講者は、名東区や千種区を中心に、遠くは知多からの参加者もありました。多くは、子育て真最中。お子さん連れで参加されました。

「ヒト」が「人」になる最も大切な時期の子育て 子育て中のママと子育てに関心をもってほしい大人に贈る「講演」

「託児施設を臨時に開設します」と、お知らせしてありましたから、可愛い子どもたちも会場の図書館にやってきました。彼らを預かる役は、愛知東邦大学のこども発達学科の学生。ベビーシッター役を買って出てくれました。幼稚園や保育園の実習をすでに済ませている4年生の彼、彼女らは、手慣れたもの。

「名古屋に来る前は大阪でこのような講演をたびたびやりました。授業とは違って楽しくできました」と講師の古市先生。

愛知東邦大学図書館スタッフの協力もあって、今回の講演は図書館というとてもリラックスできる空間でできました。

館長の計らいで受講者には本の貸出をしていただける許可もいただきました。関係者の皆様に感謝です。



中部運輸局指定 民間車検工場

堀田自動車株式会社

代表取締役 堀田 勝行(高13回卒)

本社・工場 〒496-0016 津島市白浜町字八升川田8番地
TEL (0567) 31-1321(代)
FAX (0567) 31-2815

LETS5HOTTA
ショールーム 〒496-0016 津島市白浜町字林造113番地
TEL (0567) 31-3553(代)
FAX (0567) 31-3515

「安全第一・相互信頼」をモットーに安らぎと潤いに
満ちた豊かな人間社会の発展に貢献します。

中央電気工事株式会社

取締役社長 加藤 英和

本社 〒460-8434 名古屋市中区栄3-14-22 ☎(052)262-2151(大代表)

保険のことなら

株式会社 サンエキ

代表取締役 堀江 英弥

〒464-0836 名古屋市千種区菊坂町1-40
TEL 052-762-1288 FAX 052-763-1147

消防・防災設備業全般

プレスト商事(株)

北区光音寺1907 ☎(052) 981-4881
FAX(052) 981-4829



中日本警備株式会社

〒460-0022 名古屋市中区金山2丁目1番24号
電話 (052) 322-3291(代) FAX (052) 322-3110
URL <http://www.nakanhorkebico.jp/>

警備保障

快適をカタチへ、カタチから空間へ。

株式会社 ホウトク

〒485-8562 愛知県小牧市上末東山 3509-190
☎(0568)47-5800 FAX(0568)47-5804



みつほしいんさつ 三星印刷

〒451-0041
名古屋市中区福下1-1-12
Tel 052-571-0796
Fax 052-561-8517

平和の学校の教育改革

愛知東邦大学 人間学部教授 荒川 紘



私はこの「平和が丘」という地名が好きだ。平凡な地名のようでも、そこには空襲で焦土と化した名古屋の人々の、平和な街を建設したいという希望が託されていると思われるからである。それに、命名の由来を忘れても、平和な丘である。愛知東邦大学に赴任するとすぐに大学の裏の丘に出掛けてみたが、満開の桜と御嶽の山まで広がる眺望が私の心を和ませてくれた。

平和の丘の大学であるならば、講義でも戦争と平和の話をしたと考えた私は、太平洋戦争中の勤労動員についての書物から東邦高校（当時は東邦商業学校）の生徒18名と教師2名が空襲の犠牲となったのを知った。そのための慰霊碑が東邦高校内に建立され、慰霊祭が今でもつづけられていることもその本から教えられた。

あるパーティーの席で伊藤時雄

前理事長に慰霊碑の所在を尋ねると、東邦高校の長谷川明先生（慰霊碑建立当時の教頭）に連絡をしてくれ、先生は早速私をその場所に案内してくれた。なんと慰霊碑は高校の校門のすぐ脇にある。東邦高校の生徒は毎日、慰霊碑を目に入れながら、登校しているのだ。「平和が丘」の学校での平和教育に私は感動した。

東邦高校の平和教育の伝統を受け継いでいるのであろう、愛知東邦大学でも独自の平和教育がおこなわれている。生協の協力で広島の前水禁大会に数名の学生が参加、その報告会が催された。立派な報告会であった。学外の法学研究者を招き、「九条の会」の講演会も開かれる。これも盛会であった。私は友人に「東邦」とはどここの学校かと問われたとき、野球の強豪校と答えれば、すぐに分かってもらえるが、平和教育の学校だとい

うことをつけ加えることにしている（活動の中心になっている教員の何人かが定年退職をしたこととも関係があるのか、最近案内をあまり見かけないのは気になる）。

でも、もうひとつ自慢できるものがほしい。私は大学のA棟1階の非常勤講師室に立ち寄りお茶を飲むが、そこで非常勤講師の先生方とこの大学の現状と将来についてよく話をする。大人数授業の難しさについて率直な意見が聞かされ、その改善策についても教えられることがある。ときには話が盛り上がり、近くの店で食事をしながらの自慢のできる大学への改革の談議となる。

海外に羽ばたく商業人を育てる大学に

そのなかで、ある経営学の非常勤講師の先生からは「商業の東邦」の伝統をうけついで経営

学部地域ビジネス学科を発展させて、国際経営学の学科を新設すべきだとの提言があった。名古屋経済の基礎を築き、その人材育成をめざして東邦商業学校を創設した下出民義の理想を拡げ、海外に羽ばたく商業人を育てる大学をめざす。豊田佐吉の自動織機が世界のトヨタ自動車に発展したようにである。

提案のミソは名古屋在住の社会人の参加を求める点にあった。その非常勤講師の先生は国際経営学の教員にふさわしい何人かを紹介できるという。学生にも社会人を受け入れるべきで、そのため夜間のコースを開くべきだし、研究科の設置も考えられてよいとどべていた。たしかに、立地の点でも最高級の場所である「平和が丘」のキャンパスで夜間の教室を利用しない手はない。私の経験からも社会人の参加は現役の学生にも教師にもよい刺激となることは疑いない。

人間学部には属している私もふだん考えている持論である経営学と人間学の総合した改革案を披瀝した。私の頭にあったのは、下出民義よりも一世代前に活躍した渋沢栄一である。徳川幕府の倒壊直前に渡欧してヨーロッパの文化と産業を学び、第一国

立銀行、東京海上火災保険、王子製紙など数多くの会社の設立に関わり、商法講習所(現一橋大学)、大倉商業学校(現東京経済大学)の創立にも尽力した渋沢は儒教を経営に生かすべきと考えていた実業家であった。孔子の言行録である『論語』を愛読して、みずからも『論語講義』『論語と算盤』などを著わしている。

儒教は人間完成の教え

私は東邦の学生にも『論語』を4年間じっくりと教えるべきだということを力説したのである。人生経験の豊かな社会人の教師が渋沢栄一で『論語』の講義をしてくれたらとてもよい。儒教は戦前には「教育勅語」に利用され、戦後教育では評判が悪かったが、孔子の本来の儒教は人間完成の教えである。自己を確立し他人を思いやる人間の育成をめざしていたのである。現代でもその意義が失われることはない。

希望すればだれでも入門を許した孔子は、「教えありて類なし」、教育によって人間には違いが生まれるのであって、生来の差があるのではない、とどべていた。教育にあっては人間は平等である。しかし、「学びて

思わざれば罔し」、師の話を聞くだけで、自分の頭で考えねば、物事は明らかにならない、ともいう。この「智」の教育以上に孔子が重視したのは礼儀である。「君子博く文を学びて、これを約するに礼をもってすれば、亦畔かざるべきか」、広く学問を学び、さらに「礼」を尽くせば、道に反することはないのである。孔子は74歳で亡くなるまで門人に学問と礼儀の大切さを説き、それを実践しつづけた人間学の教師であった。

そうして私たちの改革の結論は、この二つの構想を結合して、儒教的な礼をわきまえた国際的な商業人を育成する平和の学校の建設となった。新学科や研究科の設立には時間がかかるが、それをめざした教育内容の改革はすぐにできる。まずはこの教育指針を生徒と学生にわかりやすく提示・説明すること、そして教職員もその実現に努めること。それだけでも大人数を受け持つ非常勤の先生方の悩みである教室の雰囲気も変わるにちがいない。キャンパス全体が活気づく。それが改革へのエネルギーともなる。

大卒の求人倍率が1.28倍で、2001年3月卒以来10年ぶりという。

来年卒業する大学生、高校生の就職状況は大変厳しい状況となりました。学生の就職が厳しいことは予想されており、6月2日にも名古屋駅前のミッドランドスクエアにて「就職支援相談会」をおこなっています。

愛知東邦大学（就職課）主催、「フレンズ・TOHO」共催で第2回「就職支援相談会」が、9月22日（水）午後2時から5時に開かれました。

この就職支援相談会は、学内で開催される「企業展」。事前に就職課担当者から学生はレクチャーを受け、その後参加法人（会員以外の法人を含め9社）の人事担当者から企業説明を受けます。

今回の特徴は希望学生と企業担当者が、各教室に分かれて、企業側から説明を受け、その後各学生が各企業のブースを回る形式でおこなわれたことです。

法人会員の協力を得て
厳しい就職活動を支える

第2回就職支援相談会

「フレンズ・TOHO」会員で、御出席いただいた法人は、岡設計株式会社、貝沼建設株式会社、電子システム株式会社、東洋印刷工業株式会社、株式会社ミニミニ、の5社でした。

約60名の学生が、熱心に各企業の人事担当者から説明を聞く姿は、いつもながらほほえましさを感じるとともに、その真剣な表情から、就職活動の厳しさが伝わってきます。

大学の就職を担当支援する5名の深谷、橘、西崎、手嶋、照屋の各先生方も参加され、学生を見守られました。



axona 集いと学び空間をデザインする
AICHI 教育施設用家具
愛知株式会社
http://www.axona-aichi.com
〒461-0003 名古屋市東区筒井3-27-25
TEL (052) 935-6226 FAX (052) 935-6220

東邦ガスリベナスエネドウ ガス・水道・機器販売施工・修理
大曾根のオケソー
☎(052)981-7884 桶槽工業(株)
関連会社 オケソウ住機(株) 名東区指子石1-10
電話 (052) 771-0570

FUTAMURA
二村産業株式会社
代表取締役 二村 憲
名古屋市東区愛知町41-36
TEL 052-353-7724(代)・052-351-7337
FAX 052-351-7720
http://www.futamura-sangyo.co.jp/

 For your secure days
セクドム株式会社
http://www.secdom.com

工業用ゴムプラスチック製品
丸善株式会社
会長 木村 和義
本社 名古屋市中区金山4丁目3番11号
〒460-002 TEL(052)332-0811(代) FAX(052)332-3566

豊田信用金庫 天白支店
〒468-0053 名古屋市天白区植田南2丁目216番地
TEL 052-802-5011 FAX 052-805-5027

— 想いを、カタチに。 —
TOYO 東洋印刷工業株式会社
本社 〒462-0805 名古屋市北区八竜町1-25-2
TEL(052)914-9111(代) FAX(052)914-9119
URL http://www.toyo-pi.co.jp

mini mini
お部屋探しは ミニミニ星ヶ丘店 検索
http://minimini.jp
TEL 052-781-3123 FAX 052-781-3124

記念
講演「ワールドカップは
期待しないで期待して」

「フレンズ・TOHO」総会記念講演講師 川淵 三郎 氏

今年の総会記念講演は、財団法人日本サッカー協会キャプテン川淵三郎氏をお招きいたしました。ワールドカップを目前にした忙しい時期にもかかわらずご無理を頂きました。講師としてご依頼するにあたっては、「フレンズ・TOHO」会員の御園慎一郎氏にお世話いただきました。講演の様子と概略を事務局がまとめました。

講師紹介のあと演台に立たれた川淵キャプテンは、明日(6月11日)から始まるワールドカップ日本代表の現在の状況から話されました。「選手は今最悪のコンディションですが、あと4日間の中で調子を取り戻してくれると思います。皆さんは、あまり期待しないで期待して見ていただければありがたい」と述べられた後、「20年前以前、ワールドカップは「夢のまた夢であった」が、2002年のワールドカップに立候補したときには、サッカーに対してマスコミもなかなか取り上げてくれなかった。小学校の正課にサッカーが入り、漫画キャプテン翼が登場し、子供たちの中で、サッカー人気は劇的に増えていったのが大きな転機となり、Jリーグ発足の足がかりとなった」とも。

Jリーグ設立には、「7つの条件をクリアする」といった高い壁を用意し選考を行ったこと。設立後は、お客様に来てもらうための知恵をいろいろ用意し現在に至っていることも、エピソードを交えながら話されました。

2002年のワールドカップが近づいてきた時、Jリーグの観客数が大幅に減りはじめ、各所から様々な批判やら意見がでてきましたが、Jリーグの理念が3つあり、「ひとつはサッカーの技術向

上・普及促進、2つ目は豊かなスポーツ文化の振興と国民の心と体の健全な発達への寄与、最後に国際交流と親善。これこそJリーグの命であり、社会の発展に貢献する日本サッカー協会の理念でもある」として、対応されたそうです。

「理念をどう活かし、行動していくのか。志がなければ、かたちだけの理念に終わってしまう」ので、理念を大事にしつつも、具体的行動で裏付けることの重要性を語られました。

日本サッカー協会では、子供たちに「夢の教室」を各府県で開いている。そこでは、サッカーだけでなく、世のため、人のためになることを念頭におき、心身の健全な発達への寄与に、尽力していきたいと講演を締められました。



より良い記録、より豊かな精神は、よい体育施設から生まれる

石黒体育施設株式会社

代表取締役 石黒 和重

名古屋市千種区春岡2丁目27番18号 TEL052-757-4030

各種スポーツ施設の企画・設計・施工

株式会社 **S.T.S.**〒461-0027 名古屋市千種区春岡2丁目27番18号
TEL (052) 763-8141 · FAX (052) 763-8110

電子の夢を創る

東洋電機株式会社

〒480-0393 春日井市神屋町字引沢1-39
TEL0568-88-1700(代) FAX0568-88-0701

印刷というメディアを通し 未来に触れる

(株)丸和印刷

〒468-0011 名古屋市天白区平針4丁目211番地
TEL (052) 802-4141 FAX (052) 802-9355ISO9001
ISO14001 認証取得
ISO27001E-mail: info@maruwanet.co.jp
URL: http://www.maruwanet.co.jp

フレンズ法人会員紹介

株式会社 中京食材

- 社名 中京食材株式会社
- 創業 昭和50年9月1日
- 代表取締役 堤 正男
- 所在地 愛知県北名古屋市高田寺東の川
28番地の1
Tel 0568-23-2201 (代表)
Fax 0568-25-3160
- 事業内容 食材販売
調理師・賄管理委託
社員食堂・寮・寄宿舎等総合管理
- 従業員 161人 (パート含む。平成20年
10月31日現在)
- 営業エリア 東海・北陸・近畿・関東・東北・
山陽山陰・九州地区

今年の4月に愛知東邦大学A棟地下に中京食材株式会社運営のカフェテリアがオープンいたしました。学生の嗜好と栄養バランスを考慮したバランスのとれたメニュー、季節感も取り入れた商

品構成は学生・教職員の皆さんに大変好評を得ています。

創業以来35年の経験を生かし、企業・学校・建設現場・宿泊施設の新しい給食サービス(設備の提供から食堂の運営・管理まで必要な時に必要な場所で食のコーディネート)を行なっています。

官公庁をはじめ、医療施設・福祉介護施設・老健施設、建設会社等給食需要に対応できる食材産業の会社です。安全で安心できる食を提供し、満足のいただけるサービスを目指す企業でもあります。



愛知東邦大学カフェテリア

'10年度沖縄高校総体出場

サッカー、空手、アーチェリー、水泳各部に「フレンズ・TOHO」より、お祝い金

サッカー部父母の会が高校総体出場壮行会を7月24日(土)、ホテル名古屋ガーデンパレスで行いました。約200名の関係者が集まり激励しました。「フレンズ・TOHO」事務局も参加し、お祝い金をお渡しいたしました。

また、東邦高校一学期終業式の日、激励会(於、大会議室)がおこなわれました。PTA会長ら役員、榊校長、藤本教頭が出席され、出場する各クラブの部員を励ましました。「フレンズ・TOHO」事

務局も参加しました。

東邦高校英語スピーチコンテスト

第5回目となる、中学生を対象にした英語スピーチコンテスト(スピーチ、レシテーション)が11月3日(文化の日)に開催されました。

過去最高の約160名の中学生が参加し、競い合いました。



青島設計
AOSHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

名古屋 (052) 262-2341
東京 (03) 3582-2341
URL <http://www.aoshimas.co.jp>

さわやかな世界をつくる

◆新菱冷熱工業株式会社

SHINRYO CORPORATION

本社 〒160-8510 東京都新宿区四谷2-4 電話 (03) 3357-2151 (大代)
名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 電話 (052) 261-1751 (大代)

塗料と塗装(塗料全般・塗装工事一式 防水工事一式 見積無料)

協英産業株式会社

代表取締役 渡辺浩之

本社 〒466-0054 名古屋市昭和区円上町12番2号 TEL (052) 871-8687 FAX (052) 871-8414
調色工場サービスステーション 〒466-0054 名古屋市昭和区円上町12番3号 TEL (052) 872-1056 FAX (052) 881-2438

自然と親しむ会 世界遺産 熊野古道を歩く

石畳がしっかりと残っているこの馬越峠越えコースは、熊野古道（伊勢路）の中でも人気のコース。まっすぐに伸びた杉と檜の人工林が美しく、林床を覆うシダ（ウラボシ）が林の緑を一層鮮やかにしています。

海山道の駅から42号線沿いに尾鷲寄りに少し歩くと、古道入り口。石畳の道が峠まで続き、峠に出ると眼下に尾鷲の街並み。いにしへの旅人もここから汗を拭き拭き、この街並みをそれぞれが、それぞれの思いで眺めたのだらうと思うというそう感慨が湧きます。

峠を越えると、今までの美しい針葉樹が雑木林に変わって秋の気配が漂い始めていました。尾鷲は、有数の雨が多い地域。年間降水量は4000mmを超えるという。この雨に流されないために石畳が造られました。往時をしのぶ古道歩き（10月23日〈土〉）の一日でした。



江戸時代構築の石畳



展望台で「語り部」の説明を聞く



峠から望む尾鷲市街

チョットお知らせ

愛知東邦大学では、一般の方を対象に各種講座（TMCC）を開催いたしております。「フレンズ・TOHO」会員の皆様には、受講料の半額を補助いたします。

これから開催される講座は以下の通りです。どうぞ受講ください。

1. 「7分の踊りで健康に！
和のフィットネス NOSS（ノス）」
講師：西川千雅氏ほか
毎週水曜日 18:30～20:00
11月24日から全3回
2. 「感じる脳・感じる心——
自分らしさの探求——」
講師：大内妙子氏（臨床心理士）
11月13・14日 全2回
土・日曜日 13:00～15:00
問合せ先：052-782-1241

編集後記

変えることは難しい。自然界も安定をめざし、変化を望みません。止まっている物は止まり続けようとし、運動している物は運動し続けようとし、します。

人の考えも変化を避け、時代の流れも似ています。恒常や安定が快適なのです。

ところが、人は変化も望みます。オバマは“We can change.”と言い、変革ができることを敢えて示そうとしました。

「みどりの風」も30号を迎え、B版からA版に…。大きく変身をしようとした。が、変えることの難しさを痛感せざるを得ませんでした。

しかし積み重ねられた量は質の変化となって新たな変革を生み出すものだと思います。これからも、「フレンズ・TOHO」の活動を記しつつ、「会」の発展と飛躍を目指します。

ご支援ください。